

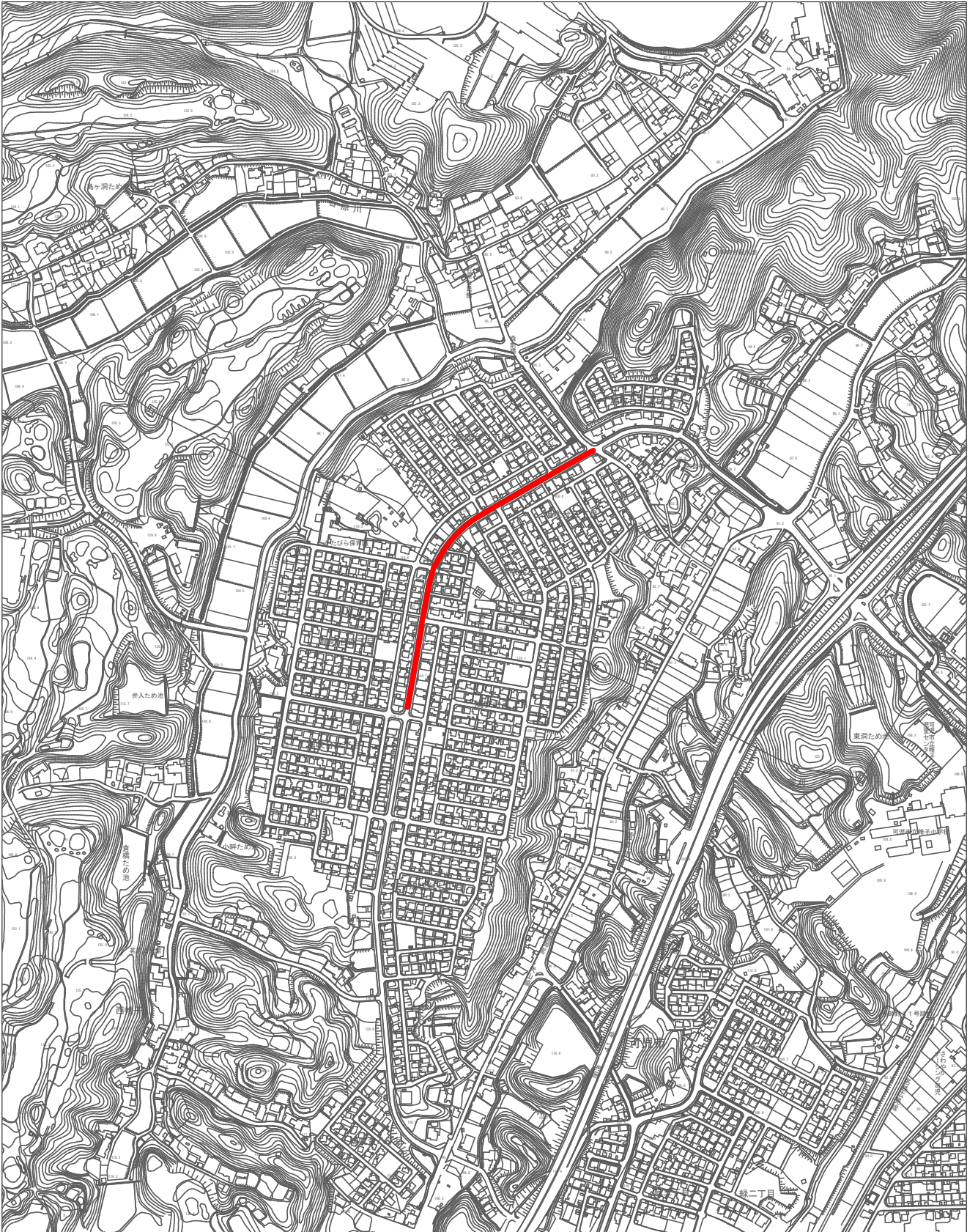
		課長	係長	検算	設計

事業年度	平成 3 0 年度
事業種別	補助
工事番号	維工-6

工事名 平成 30 年度 市道 3 8 号線舗装修繕工事

可児市 建設部 土木課

位置図



件 名	平成 30 年度 市道 38 号線舗装修繕工事		
施工場所	可児市 鳩吹台 地内		
金 額	円	内消費税相当額	円
理 由			
本工事は鳩吹台地内において、舗装劣化や管理設工事の部分復旧により路面状況が悪く、通行に支障をきたしていることや、通工事の騒音や振動により周辺環境に影響を及ぼしているため舗装修繕を行う。			
概 要			
施工延長	L=480m		
舗装工			
表層工（再生密粒 AS）	A=2,880m ²		
路上再生路盤工	A=2,880m ²		
撤去工			
路面切削工	A=2,850m ²		
マンホール蓋取替え工	19 基		
特 記 仕 様 書			
1. 一般事項 (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。 (2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。 (3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500 万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。 (4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。			

- (5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年法律第 51 条）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号、最終改定平成 22 年 3 月 18 日付け国総施第 291 号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成 18 年 3 月 17 日付け国土交通省告示第 348 号）」もしくは「第 3 次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 18 年 3 月 17 日付け国総施第 215 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。

排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5kw 以上 260kw 以下）を搭載した建設機械に限る。
・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

2. 産業廃棄物の適正処理について

- (1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。
- (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m³ 未満の場合はこの限りではない。また請負者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。
- (3) 建設発生土については、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」、及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき管理するものとする。

3. 使用材料

(1) アスファルト再生合材について

本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市）」によること。

(2) コンクリート二次製品について

本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。

(3) 生コンクリートについて

本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比 60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

4. 工事施工について

(1) 契約書 18 条第 1 項第 1 号から 5 号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。

(2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民及び通過交通者に対する周知、説明、説得等を行い、また学校、隣接家屋者への事前説明、自家用車・人の出入り等の調整を図り、トラブルの生じないよう努めること。

(3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

(4) 工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。

(5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

(6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

(7) 工事着手前に地下埋設管等の調査、マンホール等占用物の高さの確認、調整を行うこと。また、施工中は、マンホール等の段差において、交通の支障とならないような段差擦り付けを行うこと。なお、擦り付け勾配は 5 %以下とする。（ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合、8 %以下）

(8) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

6. ワンデーレスポンスの取組について

(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。

「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

- (1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
- (2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

10. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

11. その他

- (1) 現場施工に先立ち、現況縦横断面図を作成し、既設縦横断の修正を行い現場施工に反映させること。なお、現況縦横断面図及び計画縦横断面図を測定した結果記録は報告書作成の上、監督員に提出すること。また、計画縦横断面図の作成に当たり、計画横断面図を優先した計画縦断面図とすること。その場合において、左右端部の舗装高さはできるだけ同一高さになるよう計画すること。
- (2) 着手前において、起工測量を実施し、設計精査、確認を行い舗装面積展開図・計算書・区画線図面を監督員に提出すること。なお、既存の街渠柵及びマンホールの高さを測量し、

図面へ反映させること。

- (3) 舗装コアの採取については、アスファルト舗装施工後、各層ごとにコア採取を実施し、監督員立ち会いのもと、舗装厚さの確認を下検査にて実施すること。

なお、検査コアの密度試験は公的機関で測定し、管理コアの測定は公的機関又はプラント試験室で行うものとする。公的機関で密度測定した場合は、完成検査時の品質検査は省略できるものとする。

- (4) 舗装版切断工に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理をする。

「適正に処理」とは「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお受注者は、排水処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

特記仕様書 (条件明示)

工事名 平成30年度 市道38号線舗装修繕工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	☐ 1. 関連する別途発注工事あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 2. 他機関協議による工程条件あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 3. 他機関との協議状況	☐ A. 協議済機関及び内容 () ☐ B. 未協議機関及び内容 ()
	☐ 4. 占用許可状況 ()	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 5. 建築確認	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 6. 河川区域、保全区域内作業あり	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 7. 文化財協議 (教育文化財課)	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 8. その他	☐ A. その他 ()
用 地	☐ 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐ A. 区間 (N.C. ~ N.O.) ☐ B. 着工見込時期 () ☐ C. 内容 ()
	☐ 2. 工事用地の未買収	☐ A. 場所 () ☐ B. 処理の見込み時期 () ☐ C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	☐ 3. 仮設ヤードの有無	☐ A. 官有地 ☐ B. 民有地 ☐ C. その他 () ☐ D. 別途協議
	☐ 4. その他	☐ A. その他 ()
公 害 対 策	☐ 1. 施工方法の制限あり	☐ A. 騒音 () ☐ B. 振動 () ☐ C. 水質 () ☐ D. その他 ()
	☐ 2. 事業損失防止に関する調査あり	☐ A. 調査の項目 ()
	☐ 3. 環境影響調査あり	☐ A. 生物・植物調査あり
	☐ 4. その他	☐ A. アスベスト含有材あり ☐ B. フロン回収あり ☐ C. その他 ()
安 全 対 策	☒ 1. 交通規制あり	☐ A. 全面通行止め ☒ B. 片側通行止め ☐ C. 時間制限あり ()
	☒ 2. 通学路あり	☐ A. 迂回路あり ☐ B. 仮設歩道必要
	☒ 2. 交通整理員	☒ A. 工種 (撤去工、舗装工) 配置人員 2 人/日 ☐ B. 工種 () 配置人員 人/日 ☐ C. 区間 (N.C. ~) 配置人員 人/日 ☒ D. 交替要員あり
	☐ 3. 鉄道等の近接作業制限あり	☐ A. 工法制限あり () ☐ B. 作業時間制限あり ()
	☒ 4. バス路線 (運行者との協議)	☐ A. 協議済内容 () ☒ B. 未協議内容 (施工時の交通規制について)
	☐ 5. その他	☐ A. その他 ()
工 事 用 道 路	☐ 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	☐ A. 搬入経路指定あり ☐ B. 時間帯制限あり
	☐ 2. 仮設道路の設置条件あり	☐ A. 一般交通供用あり ☐ B. 安全施設必要 () ☐ C. 路面工 () ☐ D. 工事完了後存続又は撤去 () ☐ E. 構造 () ☐ F. 用地 (借地) ☐ G. 用地 (公用地) ☐ H. 用地 (その他)
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()
指 定 仮 設 備	☐ 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	☐ A. 工種 ()
	☐ 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 内容 ()
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等	
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	☐ 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	☐ A. 運搬距離（ Km ） ☐ B. 投棄料計上あり ☐ C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 ☐ D. 整地（押土）必要	
	☐ 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	☐ A. 盛土、埋戻 ☐ B. スtockヤード利用あり（ ） ☐ C. 仮置場必要（ ） ☐ D. 運搬距離（ Km ） ☐ E. 仮置場の用地借上費計上あり	
	☐ 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	☐ A. 場所（ ） ☐ B. 盛土、埋戻 ☐ C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり ☐ D. スtockヤード利用あり（ ） ☐ E. 仮置場必要（ ） ☐ F. 運搬距離（ Km ） ☐ G. 仮置場の用地借上費計上あり ☐ H. 処分料計上あり	
	☐ 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	☐ A. 他工事名（ ） ☐ B. 請負者運搬あり（運搬距離 ） ☐ C. 盛土、埋め戻し ☐ D. スtockヤード利用あり（ ） ☐ E. 仮置場必要（ ） ☐ F. 仮置場の用地借上費計上あり	
	☐ 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	☐ A. 種類（ ） ☐ B. 場所（ ） ☐ C. 中間処理施設までの運搬距離（ Km ） ☐ D. 処理費計上あり	
	☐ 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐ A. 槽内洗浄必要 ☐ B. 可児市環境課と打合せの必要あり	
	☒ 7. 「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	☒ A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） ☐ B. 建設発生土処理地の関係図書 ☒ C. コブリス ☐	
	工 事 支 障 物 件	☐ 1. 占用支障物件あり（電気）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐ 2. 占用支障物件あり（電話）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐ 3. 占用支障物件あり（水道）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐ 4. 占用支障物件あり（下水道）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☐ 5. 占用支障物件あり（ガス）	☐ A. 移設時期（H 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
		☒ 6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	☐ A. 管理者による高さ調整（ ） ☒ B. 請負者による高さ調整（雨水 ）
		☐ 7. 占用支障物件あり（その他）	☐ A. 移設時期（ ） ☐ B. 移設時期（別途協議）
☐ 8. その他		☐ A. その他（ ）	
排 水 工 関 係	☐ 1. 濁水、湧水処理条件あり	☐ A. 方法（ ）	
	☐ 2. その他	☐ A. その他（ ）	
再生材使用及び溶融スラグ	☒ 1. 再生材使用指定あり	☒ A. RC ☒ B. アスファルト再生合材（30%再生） ☐ C. アスファルト再生合材（100%再生） ☒ D. 溶融スラグ使用あり（表層 ） ☐ E. 再生材を使用できない場合別途協議	
	☐ 2. その他	☐ A. その他（ ）	
そ の 他	☐ 1. 現場発生材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 納入場所（ ）	
	☐ 2. 支給材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ）	
	☐ 3. イメージアップあり	☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 特別なイメージアップ（ ）	
	☐ 4. 「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐ A. 品質証明員の配置あり	
	☐ 5. その他	☐ A. その他（ ）	

本工事費内訳書

平成30年度 市道38号線舗装修繕工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
本工事費	式	1			費目行	
舗装工	式	1			1号明細書	
取付舗装工	式	1			2号明細書	
区画線工	式	1			3号明細書	
撤去工	式	1			4号明細書	
附帯工	式	1			5号明細書	
交通規制工	式	1			6号明細書	
直接工事費						
運搬費	式	1			1号内訳書	
共通仮設費(積上分計)						
共通仮設費(率分)	式	1			2号内訳書	
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費	式	1			3号内訳書	

平成30年度 市道38号線舗装修繕工事

本工事費内訳書

[illegible]

1号内訳書

[illegible]

内訳書

2号内訳書

[illegible]

現場管理費

内訳書

3号内訳書

[illegible]

4号内訳書

量	单 价	
---	-----	--

[illegible]

1号明細書

[illegible]

2号明細書

[illegible]

3号明細書

[illegible]

4号明細書

[illegible]

5号明細書

[illegible]

6号明細書

[illegible]

代価表

【施P】表層(車道・路肩部) (溶融スラグ入り)
1. 4m以上 50mm 再生密粒度アスコン(20) プライムコートPK-3

1号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	アスファルトフィニッシュ[排出ガス対策型(第2次基準値)] ホイール型・舗装幅2.4~ 6.0m					
K2	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t					
K3	ロートローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	アスファルト混合物 (溶融スラグ入り) 再生密粒度アスコン(20)				20号代価表	
Z2	アスファルト乳剤 PK3 プライムコート用					
Z3	軽油 小型ローリー バトロール給油					

1号代価表

1. 4m以上 50mm 再生密粒度アスコン(20) フライムコートPK-3

1 m2当り

[illegible]

路上路盤再生工
混合深t≦20cm 養生工無し

代価表

2号代価表

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
ラントクリーンCⅢ 発塵抑制型 フレコン	t	0.536				
アスファルト乳剤 セメント混合 リサイクル用MN1	L					
スタビライザ 路盤再生用・処理幅2.0m・処理深0.4m	日				1号単価表	
モータグレータ（排対1次） 土工用・プレート幅3.1m	日				2号単価表	
ロートローラ（排対1次） マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m	日				3号単価表	
タイヤローラ（賃料） 質量8~20t	日				4号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	小器材の費用
計						
1 m2 当り						
混合深さ選択 : t≦20cm 添加剤の計上 : 計上する						

2号代価表

100 m²当り

[illegible]

【施P】不陸整正
補足材料有 29mm以上34mm未満 再生クラッシュンRC-30

代価表

3号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	モータグレート〔排出ガス対策型(第1次基準値)〕 土工用・プレート幅3.1m					
K2	ロートローラ〔排出ガス対策型(第1次基準値)〕 マカダム・質量10～12t・締固め幅2.1m					
K3	タイヤローラ〔排出ガス対策型(第1次基準値)〕 普通型・質量8～20t					
R						
R1	運転手(特殊)					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	再生碎石 RC-30					
Z2	軽油 小型ローリー ハートロール給油					
仕上がり層数：SS=1層 補足材料の有無：有り						
補足材料平均厚さ：29mm以上34mm未満 補足材料：再生クラッシュンRC-30						

3号代価表

補足材料有 29mm以上34mm未満 再生クラッシュランRC-30

1 m²当り

[illegible]

区画線設置(標準単価)
夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 実線・15cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

代価表
4号代価表

1,000 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
区画線工 昼間施工 豪雪補正無[手間のみ] 溶融式(手動) 実線 15cm 制約なし	m	1,000				
路面標示用塗料 3種1号 白 JIS K 5665 3種1号 溶融型 ガラスビーズ含有量15～18%	k g					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	k g					
プライマー 区画線用	k g					
軽油 小型ローリー ハートロール給油	L					
諸雑費	%				諸雑費	プロパンガス等
計						
1 m 当り						
計上区分：材料費+施工費 代価表の当り数量：1000当り代価表						
夜間作業の有無：無し 施工方法区分：溶融式手動						
豪雪補正の有無：無し 規格・仕様区分：実線・15cm						
時間的制約の有無：無し 塗布厚：1.5mm						

4号代価表

夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 実線・15cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

[illegible]

区画線設置(標準単価)
夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 実線・45cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

代価表
5号代価表

1,000 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
区画線工 昼間施工 豪雪補正無[手間のみ] 溶融式(手動) 実線 45cm 制約なし	m	1,000				
路面標示用塗料 3種1号 白 JIS K 5665 3種1号 溶融型 ガラスビーズ含有量15～18%	k g					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	k g					
プライマー 区画線用	k g					
軽油 小型ローラー ハートロール給油	L					
諸雑費	%				諸雑費	プロパンガス等
計						
1 m 当り						
計上区分：材料費+施工費 代価表の当り数量：1000当り代価表						
夜間作業の有無：無し 施工方法区分：溶融式手動						
豪雪補正の有無：無し 規格・仕様区分：実線・45cm						
時間的制約の有無：無し 塗布厚：1.5mm						

5号代価表

夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 実線・45cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

1,000 m 当り

[illegible]

区画線設置(標準単価)
夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 破線・15cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

代価表
6号代価表

1,000 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
区画線工 昼間施工 豪雪補正無[手間のみ] 溶融式(手動) 破線 15cm 制約なし	m	1,000				
路面標示用塗料 3種1号 白 JIS K 5665 3種1号 溶融型 ガラスビーズ含有量15～18%	k g					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	k g					
プライマー 区画線用	k g					
軽油 小型ローラー ハートロール給油	L					
諸雑費	%				諸雑費	プロパンガス等
計						
1 m 当り						
計上区分：材料費+施工費 代価表の当り数量：1000当り代価表						
夜間作業の有無：無し 施工方法区分：溶融式手動						
豪雪補正の有無：無し 規格・仕様区分：破線・15cm						
時間的制約の有無：無し 塗布厚：1.5mm						

6号代価表

夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 破線・15cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

1,000 m 当り

[illegible]

代価表

7号代価表

1,000 m当り

区画線設置(標準単価)
夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 破線・30cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
区画線工 昼間施工 豪雪補正無[手間のみ] 溶融式(手動) 破線 30cm 制約なし	m	1,000				
路面標示用塗料 3種1号 白 JIS K 5665 3種1号 溶融型 ガラスビーズ含有量15～18%	k g					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	k g					
プライマー 区画線用	k g					
軽油 小型ローラー ハートロール給油	L					
諸雑費	%				諸雑費	プロパンガス等
計						
1 m 当り						
計上区分：材料費+施工費 代価表の当り数量：1000当り代価表						
夜間作業の有無：無し 施工方法区分：溶融式手動						
豪雪補正の有無：無し 規格・仕様区分：破線・30cm						
時間的制約の有無：無し 塗布厚：1.5mm						

7号代価表

夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 破線・30cm 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

1,000 m 当り

[illegible]

代価表

8号代価表

1,000 m当り

区画線設置(標準単価)
夜間無 溶融式手動 豪雪補正無 矢印・記号・文字・15cm換算 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
区画線工 昼間施工 豪雪補正無[手間のみ] 溶融式(手動) 矢印記号文字15cm換算 制約なし	m	1,200				
路面標示用塗料 3種1号 白 JIS K 5665 3種1号 溶融型 ガラスビーズ含有量15～18%	k g					
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	k g					
プライマー 区画線用	k g					
軽油 小型ローリー ハートロール給油	L					
諸雑費	%				諸雑費	プロパンガス等
計						
1 m 当り						
計上区分：材料費+施工費 代価表の当り数量：1000当り代価表						
夜間作業の有無：無し 施工方法区分：溶融式手動						
豪雪補正の有無：無し 規格・仕様区分：矢印・記号・文字・15cm換算						
重複施工は計上区分：幅15cm換算長を計上(重複施工は分を含む単価) 時間的制約の有無：無し						

8号代価表

夜間無 熔融式手動 豪雪補正無 矢印・記号・文字・15cm換算 制約無 塗布厚1.5mm 排水無 未供無

1,000 m 当り

[illegible]

9号代価表

車道(ETCレーン含む) RPN-101 100m2未満 制約無 夜間無 既設As施工無 Co施工無

1 m²当り

[illegible]

【施P】路面切削
全面切削(4,000m2以下)・6cm以下 無し

代価表

10号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	路面切削機 ホイル式・廃材積込装置付・幅2.0m ・切削深23cm					
K2	路面清掃車 ブラシ式・ホッパ 容量1.5m3 ・四輪式					
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	特殊作業員					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー ハートロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)： 無し					
施工区分	平均切削深さ： 全面切削(4,000m2以下)・6cm以下					
段差すりつけ	の撤去作業： 無し					
軽油	： 軽油； 小型ローリー ハートロール給油					

代価表

【施P】舗装版破碎
アスファルト舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り

11号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	バックホウ(賃貸)クローラ(法面バケット付) 山積み0.45m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	土木一般世話役					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー ハートロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)： 無 舗装版種別：アスファルト舗装版					
障害等	の有無：無し 騒音振動対策：不要					
舗装版厚	：10cm以下 (バックホウ)賃料長期割引の適用：長期割引あり					
軽油	：軽油； 小型ローリー ハートロール給油					

代価表

【施P】舗装版切断

アスファルト舗装版 As:15cm以下

12号代価表

1 m当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	コンクリートカッタ バキューム式・湿式・切削深20cm級・プレート径56cm					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	コンクリートカッタプレート 径56cm(55cm)					
Z2	レギュラーガソリン スタント					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
舗装版	種別：アスファルト舗装版					
アスファルト	舗装版厚：15cm以下					
コンクリート	カッタ(プレート)径22インチ：コンクリートカッタプレート；径56cm(55cm)					
ガソリン	レギュラー：レギュラーガソリン；スタント					

アスファルト処分工（切削屑）

1 m³当り

[illegible]

14号代価表

1 m³当り

[illegible]

15号代価表

1 基当り

[illegible]

16号代価表

1 m³当り

[illegible]

17号代価表

1 人当り

[illegible]

18号代価表

1 人当り

[illegible]

運搬費 29.00t 往復 建設機械類
片道20km 特大品

代価表

19号代価表

1 台当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一般距離制運賃 14t車 20km迄	台	2				
一般距離制運賃 20km迄加算 14t車超2t毎	台	16				
特大品割増	式	1				
運搬費(調整金)	式	1				
運搬される建設機械の運搬中の損料 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)、2.0m 排出カス未対策型 往復 片道20km	回	1			27号代価表	
計						
1 台 当 り						
代価表当り単位の選択(標準=台)： 運搬車両1台当り代価表						
運搬物の選択(t数指定、建機、他)： 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)：2.0m：29.00t ； t積						
往復片道区分： 往復						
運搬距離の決定方法(標準：入力)： 運搬距離(km)を入力						
片道平均運搬距離： L=20km						
地区割増計上区分： 割増無し						
割増率の計上方法(標準：選択)： 特大品、悪路、冬期、深夜・早朝割増をそれぞれ選択						
特大品割増計上区分(機械類)： C1=70； 特大品割増(C1)：15t以上； 建設機械類の割増率(%)：割増あり(特大品)						
悪路割増計上区分： C2=0； 悪路割増：割増なし； 割増率(%)						
冬期割増計上区分： C3=0； 冬期割増：割増なし； 割増率(%)						

19号代価表

1 台当り

[illegible]

20号代価表

1 t 当り

[illegible]

代価表

【施P】殻運搬(路面切削)
DID無し 16.0km以下

21号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー ハートル給油					
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)： 無 DID区間の有無： 無し					
	運搬距離： 16.0km以下 軽油： 軽油； 小型ローリー ハートル給油					

【施P】殻運搬
舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) DID無し 22.0km以下

代価表

22号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー ハートル給油					
	殻発生作業、積込工法区分：舗装版破碎；積込工法区分 DID区間の有無：無し					
	運搬距離：22.0km以下 軽油：軽油；小型ローリー ハートル給油					

マンホール蓋撤去工

代価表

23号代価表

1 基当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
トラッククレーン(作業料金) 4.9t吊 ｽﾍﾞﾚｰﾀ付 日極	台/日					
鉄屑 へビー H2 引取価格	k g					
計						
1 基 当り						
調整コンクリートブロック使用区分：S1=0.08, S2=0.08, S3=0.16, S4=0.08, S5=5；使用しない；蓋(受枠共)及び調整コンクリートブロック(1組当り)：世話役(人/組), 特殊作業員(人/組), 普通作業員(人/組), トラッククレーン(日/組), 諸雑費(%)						
資材計上区分：材料費+施工費						
蓋(受枠共)：マンホール鋳鉄蓋 φ600 T25 可児市型；無収縮モルタル、管理番号含						
(クレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
クレーン賃料補正：標準						

マンホール蓋設置工
ブロック使用しない T-25 無収縮モルタル含

代価表

24号代価表

1 基当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
マンホール铸铁蓋 φ600 T25 可児市型	組	1				
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
トラックレーン(作業料金) 4.9t吊 オペレータ付 日極	台/日					
調整金具 0-100mm ボルト・ナット 3本	組	1				
無収縮モルタル 25kg袋	袋	1				
ホーク・カットアンカー (ステンレス) 相当品 16CA 3本	組	1				
ハンマドリル削孔 径10≦D<30mm 深100≦t≦200mm	孔	3			28号代価表	
諸雑費	%				諸雑費	モルタル工(配合1:2、敷厚1cm)等
計						
1 基 当 り						

24号代価表

1 基当り

[illegible]

25号代価表

1 m³当り

[illegible]

コンクリート処分工
無筋

代価表

26号代価表

1 m³当り

[illegible]

27号代価表

路面切削機(ホール式・廃材積込装置付)、2.0m 排出ガス未対策型 往復 片道20km

1 回 当 り

[illegible]

ハンマドリル削孔
径 $10 \leq D < 30\text{mm}$ 深 $100 \leq t \leq 200\text{mm}$

代価表

28号代価表

100 孔当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
発動発電機(賃料) 出力2kVA低騒音型	日				5号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	ビット、ハンマドリル損料等
計						
1 孔 当り						
発動発電機運転 : 発動発電機(賃料) ; 出力2kVA低騒音型						

代価表

【施P】殻運搬

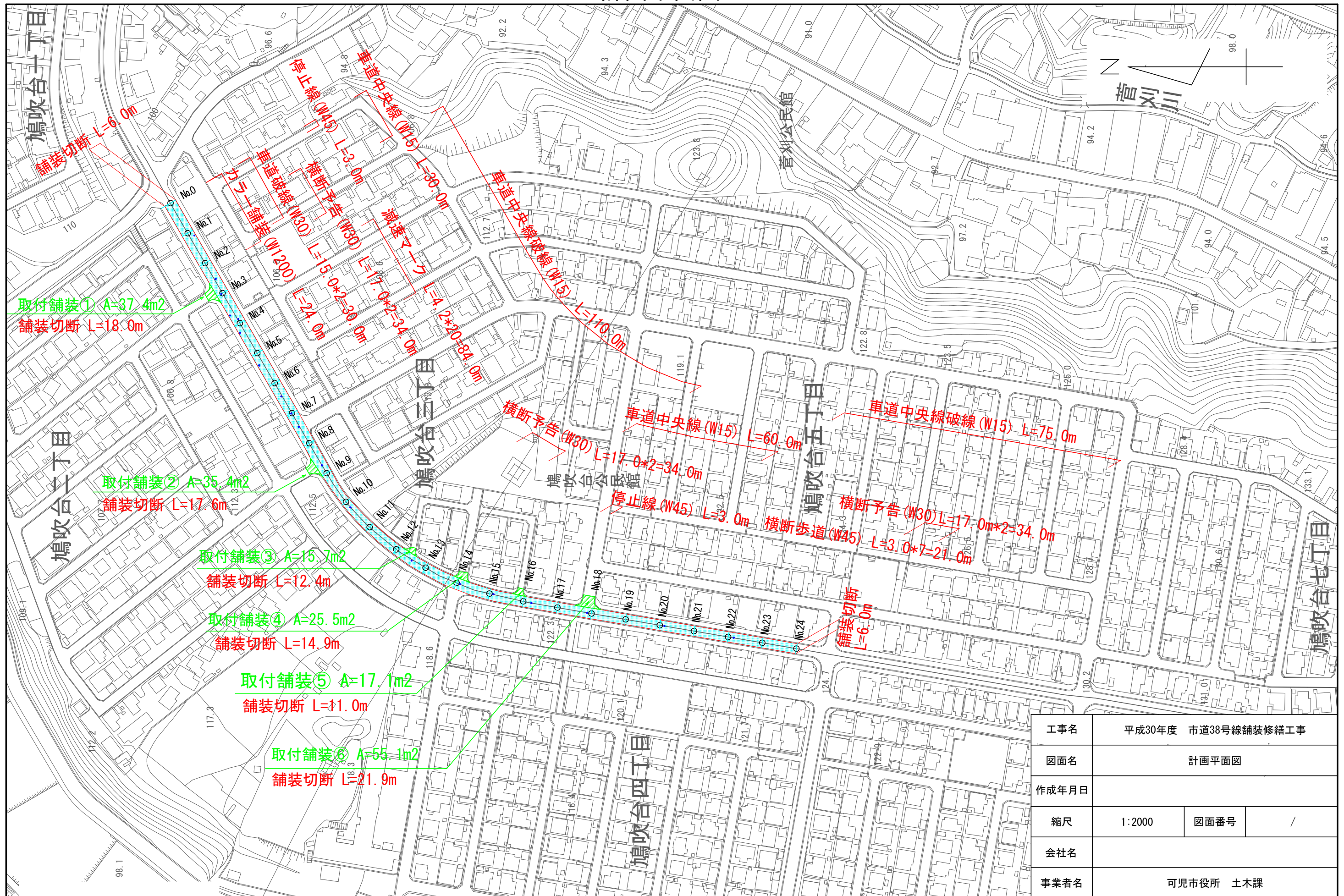
コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込 DID無し 8.5km以下

29号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー ハートル給油					
殻発生作業、積込工法区分：コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし；積込工法区分						
DID区間の有無：無し						
運搬距離：8.5km以下						
軽油：軽油；小型ローリー ハートル給油						

計画平面図

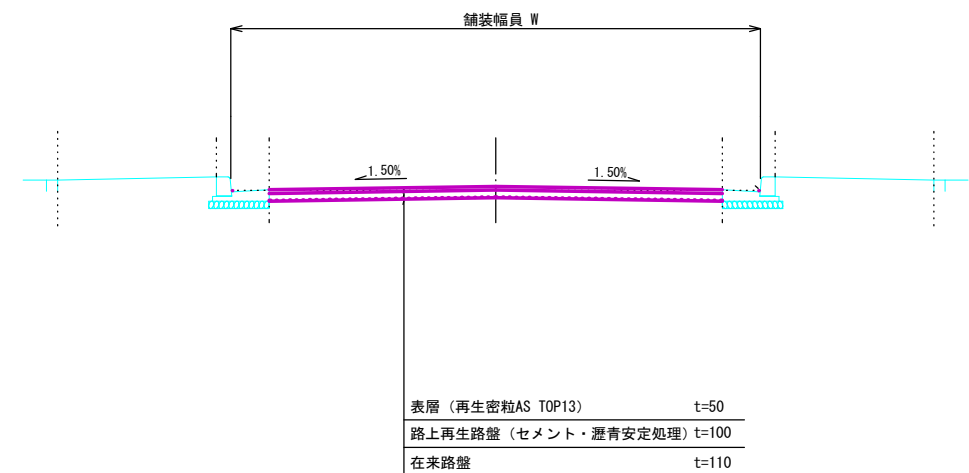


工事名	平成30年度 市道38号線舗装修繕工事		
図面名	計画平面図		
作成年月日			
縮尺	1:2000	図面番号	/
会社名			
事業者名	可児市役所 土木課		

●：雨水MH取替 19基

標準断面図

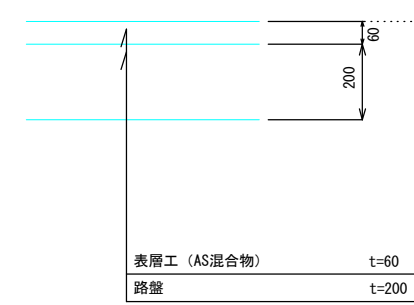
断面図 S=1:50
市道38号線



設計条件

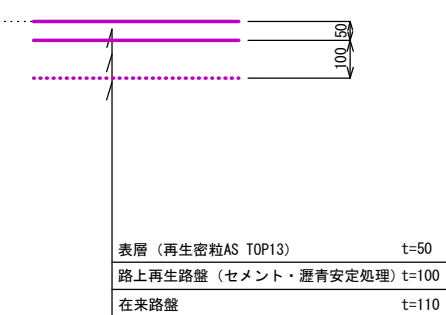
設計期間	20年
信頼度	90%
舗装計画交通量	$100 \leq T < 250$
交通量区分	N4
設計CBR	20
必要TA	11.8

舗装構成 (現況) S=1:10



舗装構成 (計画) S=1:10

路面高 ±0cm

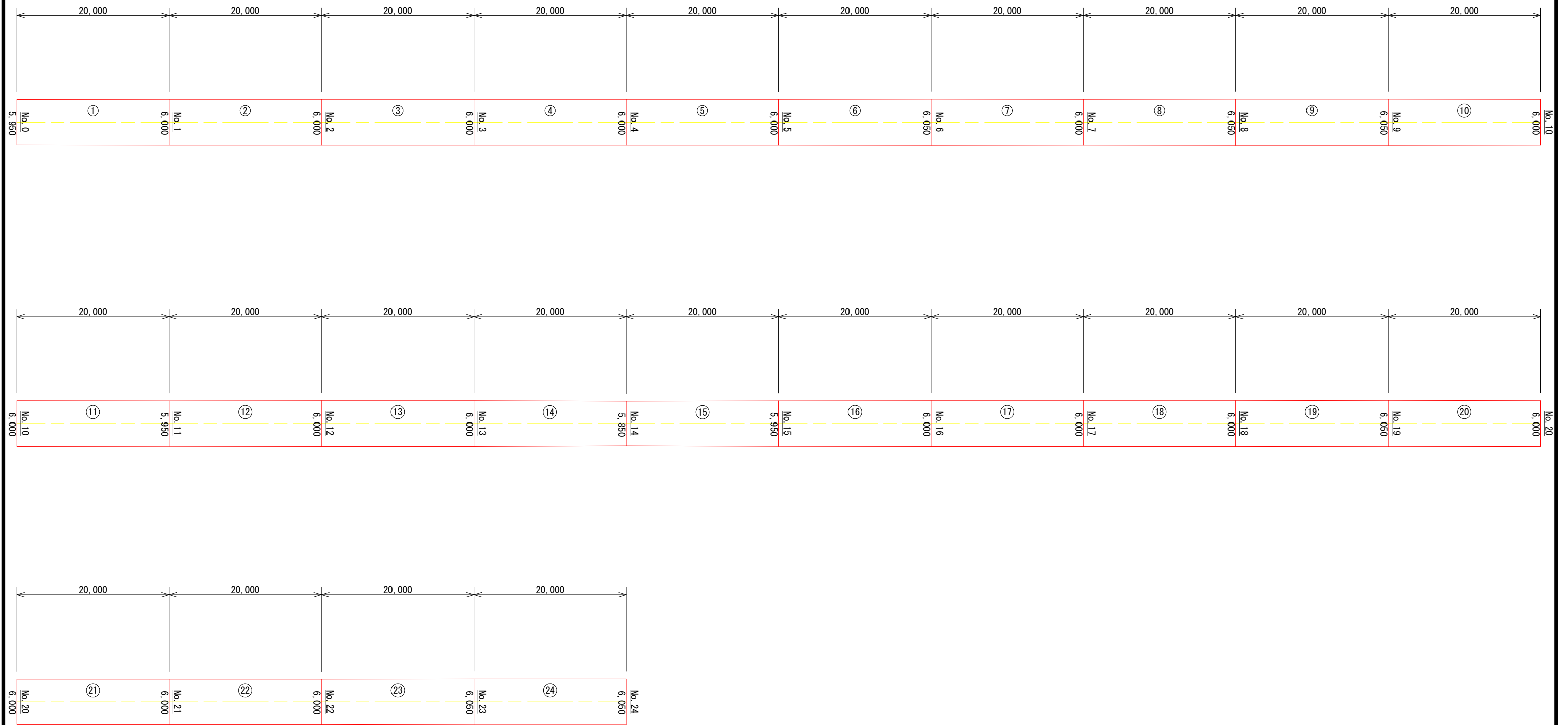


TA計算

舗装厚×等価換算係数
$5 \times 1.00 = 5.00$
$10 \times 0.65 = 6.5$
$11 \times 0.15 = 1.65$
$\Sigma TA = 13.15 > 11.8$

工事名	平成30年度 市道38号線舗装修繕工事		
路線・河川名等	市道38号線(鳩吹台)		
施工箇所名	可児市 鳩吹台 地内		
図面の種類	標準断面図		
縮尺	図示	図面番号	1葉之内1
事務所名	可児市役所		

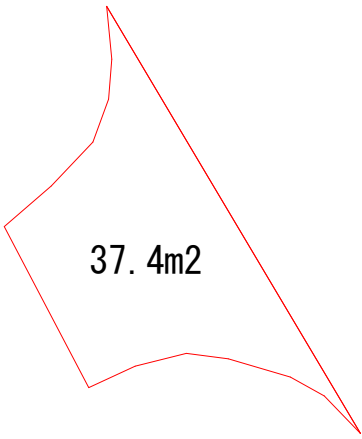
舗装展開図①



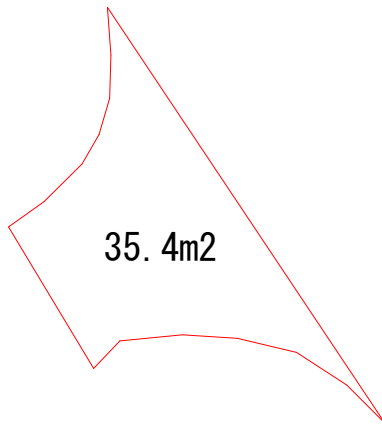
工事名	平成30年度 市道38号線舗装修繕工事		
図面名	舗装展開図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	/
事業者名	可児市役所 土木課		

舗装展開図②

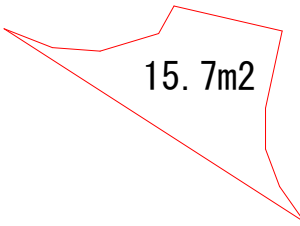
取付舗装①



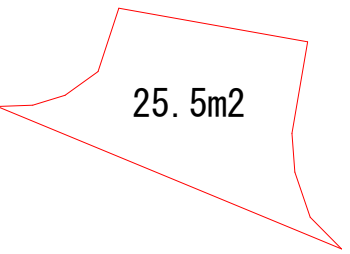
取付舗装②



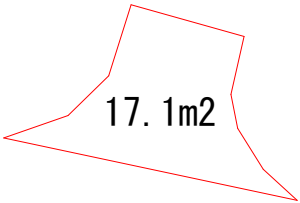
取付舗装③



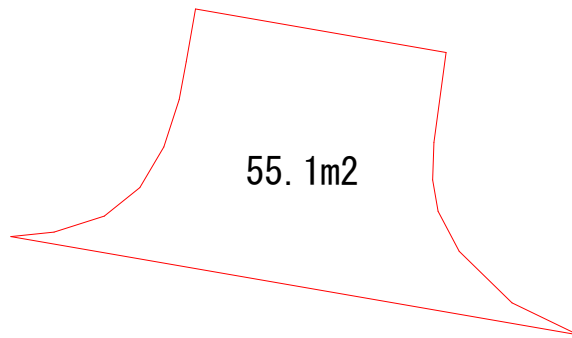
取付舗装④



取付舗装⑤



取付舗装⑥



工事名	平成30年度 市道38号線舗装修繕工事		
図面名	舗装展開図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	/
事業者名	可児市役所 土木課		